



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場会社名 株式会社アルテ サロン ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2406 URL <http://www.arte-hd.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 目黒 泉
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 坂口 満春 TEL 045-663-6123
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	5,201	5.6	116	10.6	142	△1.8	24	173.3
26年12月期第3四半期	4,925	△2.6	104	△62.1	145	△52.8	9	△91.9

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 25百万円(183.3%) 26年12月期第3四半期 8百万円(△92.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	4.95	—
26年12月期第3四半期	1.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	6,576	2,209	33.6
26年12月期	6,935	2,250	32.4

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 2,209百万円 26年12月期 2,250百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	4.6	260	2.9	310	1.9	45	△36.7	8.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年12月期3Q	5,644,000株	26年12月期	5,644,000株
-----------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数

27年12月期3Q	618,843株	26年12月期	618,843株
-----------	----------	---------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期3Q	5,025,157株	26年12月期3Q	5,025,200株
-----------	------------	-----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年1月1日～平成27年9月30日)におけるわが国経済は、政府による積極的な経済政策や日銀の金融緩和政策により緩やかな回復基調で推移いたしました。一方では、為替変動に伴う原材料価格への影響やユーロ圏、新興国経済の動向など景気を下押しするリスクが存在しております。

美容業界においても消費税増税後の個人消費低迷からの回復の足取りは重く、依然として来店サイクルの長期化や単価の下落等が見られ、不透明な状況が続くと予想されます。

このような状況の中、当社グループは、グループチェーン売上高の底上げを図るための諸施策を実施しております。

動員施策として、営業時間外にも予約が可能なWeb予約システムの活用強化やメールマガジンを活用し魅力ある情報発信を行い、新規顧客の獲得や再来顧客の増加を図っております。

一方で、人口構成の変化が進み、第2次ベビーブーム世代である40代以降の顧客層の需要を捉えることの重要性が高まっています。

このため、ヘアケア・リラクゼーション・アンチエイジングを目的としたメニューや商品販売の強化、美容室の雰囲気や対応力を重視する大人客を囲い込むための接客力強化を行っております。

その結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループチェーンの入客数は、2,032千人(前年同四半期比103.7%)、当社グループチェーンの全店売上高合計は、12,339百万円(前年同四半期比100.4%)となりました。当第3四半期連結累計期間における当社グループの店舗数は、278店舗(株式会社アッシュ「以下、Ash」115店舗、株式会社ニューヨーク・ニューヨーク「以下、NYNY」32店舗、株式会社スタイルデザイナー「以下、SD」120店舗、株式会社ダイヤモンドアイズ11店舗)となり、グループにおけるFC店舗数は、224店舗(Ash94店舗、NYNY21店舗、SD109店舗)となりました。

平成27年4月に株式を取得した株式会社シーエフジェイが展開する「COIFFIRST」は非連結子会社であるため、当社グループチェーンの入客数、全店売上高、及び店舗数には含まれておりません。

なお、当社グループ国内店舗278店舗のほか、海外店舗数は、代理店ブランドサロンとしてシンガポール共和国1店舗、大韓民国1店舗、合計2店舗となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は5,201百万円(前年同四半期比105.6%)、営業利益は116百万円(同110.6%)、経常利益は142百万円(同98.2%)、スクラップアンドビルドに伴う原状回復費用等店舗閉鎖損失及び減損損失を81百万円計上したことにより、四半期純利益は24百万円(同273.3%)となりました。

(注) 連結子会社である株式会社eye love nailの全2店舗は、第2四半期連結会計期間中に閉店しております。

また、同社は、平成27年5月29日付で解散し、平成27年10月7日付で清算終了しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、506百万円減少して2,298百万円となりました。

これは主として、現金及び預金の減少297百万円、立替金(四半期連結貸借対照表上は「その他」で表示)の減少173百万円によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、148百万円増加して4,278百万円となりました。

これは主として、新規出店、改装、移転等に伴う有形固定資産の増加181百万円、移転、閉店等に伴う敷金及び保証金の減少15百万円によるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、358百万円減少して6,576百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、567百万円減少して2,172百万円となりました。

これは主として、未払金の減少396百万円、1年内返済予定長期借入金の減少73百万円、未払消費税等(四半期連結貸借対照表上は「その他」で表示)の減少69百万円によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、249百万円増加して2,195百万円となりました。

これは主として、年間資金調達予定額の一部600百万円を平成27年3月に調達したことに伴う長期借入金の増加273百万円、預り敷金・保証金(四半期連結貸借対照表上は「その他」で表示)の減少20百万円によるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて317百万円減少して4,367百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて、40百万円減少して2,209百万円となりました。

これは主として、配当金50百万円を計上したこと等による利益剰余金の減少41百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の32.4%から33.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年8月3日に公表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、退店時の原状回復費用の実績に増加傾向が見られることから、店舗の退去時に必要とされる原状回復費用に関して見積りの変更を行いました。

見積りの変更による増加額を変更前の資産除去債務残高に5,543千円加算しております。

なお、当該見積りの変更による、当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,334,946	1,037,368
売掛金	498,561	524,848
商品	70,409	59,570
貯蔵品	28,942	25,902
その他	876,721	655,763
貸倒引当金	△4,208	△4,944
流動資産合計	2,805,373	2,298,510
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,207,642	5,387,419
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,674,763	△3,716,850
建物(純額)	1,532,878	1,670,568
車両運搬具	17,390	12,989
減価償却累計額	△9,992	△7,848
車両運搬具(純額)	7,397	5,141
工具、器具及び備品	970,992	1,015,152
減価償却累計額及び減損損失累計額	△793,281	△825,312
工具、器具及び備品(純額)	177,710	189,839
土地	134,200	134,200
リース資産	22,059	22,059
減価償却累計額	△2,353	△5,609
リース資産(純額)	19,705	16,450
建設仮勘定	—	37,206
有形固定資産合計	1,871,893	2,053,408
無形固定資産		
のれん	310,280	292,955
その他	151,090	147,845
無形固定資産合計	461,370	440,801
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,487,405	1,471,842
その他	316,202	312,543
貸倒引当金	△6,549	△138
投資その他の資産合計	1,797,058	1,784,247
固定資産合計	4,130,323	4,278,456
資産合計	6,935,696	6,576,967

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	108,321	55,212
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	759,917	685,938
未払金	1,487,066	1,090,775
未払法人税等	46,583	41,722
資産除去債務	8,649	9,832
その他	229,365	188,681
流動負債合計	2,739,902	2,172,162
固定負債		
長期借入金	1,549,679	1,822,913
退職給付に係る負債	62,433	73,220
資産除去債務	11,515	31,524
その他	321,844	267,720
固定負債合計	1,945,472	2,195,377
負債合計	4,685,375	4,367,539
純資産の部		
株主資本		
資本金	324,360	324,360
資本剰余金	860,292	860,292
利益剰余金	1,320,466	1,279,172
自己株式	△254,839	△254,839
株主資本合計	2,250,278	2,208,984
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42	443
その他の包括利益累計額合計	42	443
純資産合計	2,250,321	2,209,427
負債純資産合計	6,935,696	6,576,967

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	4,925,730	5,201,585
売上原価	3,569,207	3,734,948
売上総利益	1,356,522	1,466,637
販売費及び一般管理費	1,251,573	1,350,530
営業利益	104,948	116,106
営業外収益		
受取利息	1,942	2,464
受取手数料	12,401	12,161
期限到来チケット精算収入	17,251	13,344
F C契約解約益	18,656	—
その他	14,134	23,082
営業外収益合計	64,387	51,052
営業外費用		
支払利息	14,913	14,912
その他	8,990	9,426
営業外費用合計	23,904	24,339
経常利益	145,431	142,819
特別利益		
固定資産売却益	45	300
F C契約解約益	10,419	69,333
受取保険金	—	34,367
特別利益合計	10,465	104,000
特別損失		
固定資産売却損	—	671
固定資産除却損	8,803	16,294
店舗閉鎖損失	56,080	54,376
減損損失	28,633	27,472
災害による損失	—	11,623
貸倒引当金繰入額	—	64,054
子会社整理損	—	6,000
その他	—	766
特別損失合計	93,516	181,260
税金等調整前四半期純利益	62,379	65,559
法人税、住民税及び事業税	73,541	78,886
法人税等調整額	△20,259	△38,193
法人税等合計	53,282	40,692
少数株主損益調整前四半期純利益	9,097	24,866
四半期純利益	9,097	24,866

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,097	24,866
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△177	400
その他の包括利益合計	△177	400
四半期包括利益	8,919	25,267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,919	25,267

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。